

我が子を待ち続けた母の祈りは 人々の胸懐となって記憶に残った

昭和歌謡

誕生物語

第1巻 文・山川晋

満州

牡丹江の戦地に消えた息子
終戦となっても帰らぬ息子
「あの子が死ぬはずはない」
母は信じて待っていた

舞鶴の岸壁に入港した引揚船
母は岸壁に佇んだ
何年も何年も佇んだ
もしやもしやにひかされて

「最愛の母」端野いせさん
息子の無事を信じて佇んだ
悲願十年の祈りだった

藤田まさとは戦争への憤りを
母の慟哭に統一して作詞した
菊池章子は一聴、涙にまみれた
涙しながらレコーディングした

昭和29年「最愛の母」発売
人々は聴く度に涙涙に暮れた
母の思いは万人の思いだった
歌は100万枚の売上げを越え
誰知らぬ者としてない曲となった
そして……

日本人の心の中を縫い込まれた

菊池章子『岸壁の母』

岸

壁の母」のモデルと
なった端野いせさん

は明治32年(1899)、石川
県生まれ。夫と娘を相次いで
亡くした後、養子として長男・
新二さんを育てる。だが、新
二さんは大学を中退後、軍人
を志し満洲の予備士官学校へ。
そしてソ連の攻撃を受け中国
牡丹江で行方不明になってし
まうのだ。

終戦後、東京に住むいせさ
んのもとに、京都・舞鶴にソ
連予備士官学校からの引揚船が
入港する、という連絡が入っ
たのは昭和25年(1950)の
こと。以来、息子の復員を信
じ岸壁に立つたいせさん。実
にそれは6年にも及び、いつ
しか人々の目に止まり、新聞
で岸壁の母として取り上げ
られることになった。
そんな出来事に目を付けた

のがテイチクだった。さつそ
く、「明治一代女」などの作詞
で知られる藤田まさなどに作詞
を依頼。藤田の、母親の愛と
執念、戦争に対するやり場の
ない憤りを書き綴った歌詞に
平川浪龍が曲を付け、いよいよ
よイチク本社で視聴が行な
われることになった。

集まったのは、藤田ほか文
芸部長、重役ら数人。ピアノ
演奏が始まる。ところが、曲
が終わっても誰一人、言葉を
発するものがない。なぜな
ら、彼らは男泣きしていたの
である。

この歌を誰に歌わせたらい
いのか、それが次の課題にな
った。白羽の矢を立てられた
のは菊池章子だった。菊池は
「母紅梅の唄」など、いわゆる
「母物映画」の主題歌でヒット
を連発していた。さつそく、レ

コーディングが始まった。だ
が、何度やっても演奏が始ま
ると泣き出してしまふ菊池
どうしても歌えない。それは
歌番組に出演しても同じだっ
た。そんな姿が日本じゅうの
感動を呼び、「岸壁の母」は1
00万枚を超える空前の大ヒ
ットを記録。昭和29年(195
4)のことである。

それから20数年――。
「私のレコードを差し上げた
い」という菊池に、「もらっても
家にはブレイヤーもないので、
新二が帰るまでレコードは預
かってください」と語ってい
たいせさんは、息子の生存を
信じながら昭和56年(198
1)7月、旅立った。享年81。

その20年後、平成12年(20
00)8月、京都新聞が「新二
さんが上海市で生存していた
ことを確認した」と報道。だが

その後、異論を唱える報道も
あり、その人物が本当に新二
さんであるかどうか、いまだ
に定かではないという。

日本中に感動を呼んだ「岸
壁の母」は、涙なしには聴けな
い名盤だった。



Yamakawa Chū

1962年東京生まれ。テレビ制作会社
制作記者を経てフリーランスに。
著書に『東方神起の謎』『東方神起
J-VI』を刊行。『共にイーストプレス』、
『ビューマンドキョメント 幸せのきずな』
、『ワイルド問題』など。
また、出版プロデュース作品として
『生きる 渡家良介(スカーフ出版)』、
『アキの社員(旺文社)』、『共にイースト
プレス』などを著す。